

平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月30日

上場会社名 株式会社白洋舎 上場取引所 東
 コード番号 9731 URL http://www.hakuyosha.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)五十嵐 素一
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)丹羽 義己 (TEL)03(5732)5111
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日~平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	34,728	3.5	872	△2.5	936	△10.4	454	△44.4
25年12月期第3四半期	33,552	1.0	895	45.1	1,044	61.1	817	320.4

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 580百万円(△51.1%) 25年12月期第3四半期 1,186百万円(166.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	11.87	—
25年12月期第3四半期	21.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	33,374	7,225	20.1
25年12月期	30,973	6,871	20.5

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 6,723百万円 25年12月期 6,359百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	2.50	—	2.50	5.00
26年12月期	—	2.50	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日~平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,600	1.2	1,120	0.6	1,170	△9.2	630	2.9	16.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期3Q	39,000,000株	25年12月期	39,000,000株
26年12月期3Q	697,954株	25年12月期	693,016株
26年12月期3Q	38,304,523株	25年12月期3Q	38,313,097株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年1月1日～9月30日)におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に、景気は緩やかな回復基調が続いている一方で、個人消費に関しては、消費増税前の駆け込み需要の反動減による影響が依然見られる等、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループではお客さま満足をすべての価値の中心とする「顧客中心経営」のもと、お客さまニーズに基づくサービスメニューの充実を図るとともに、異業種企業との提携強化等により、お客さまとの接点拡大に努めてまいりました。また、本年7月には、当社東京支店ならびに連結子会社である共同リネンサプライ株式会社の隣地(東京都大田区下丸子)の新社屋に本社を移転し、業務効率の改善を図っております。

これらの結果、当社グループの売上高は347億2千8百万円(前年同四半期比3.5%増)、営業利益は8億7千2百万円(前年同四半期比2.5%減)、経常利益は為替差益の減少等により、9億3千6百万円(前年同四半期比10.4%減)、四半期純利益は投資有価証券売却益の減少等により、4億5千4百万円(前年同四半期比44.4%減)となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

<クリーニング>

個人向けのクリーニング事業については、中長期的に需要が減少する傾向にある中、「新規のお客さまを増やす・継続してご利用いただく・より多くご利用いただく」ことを目的とし、ショッピングセンター等への新規出店を増やすとともに、お客さまとの接点拡大を目指してアパレルメーカー等、異業種他企業との連携・提携を推進しております。当第3四半期においては、「夏の応援3プラン」として、スウェーデンで開発された抗菌防臭加工剤「ポリジン」を使用した「ポリジンウォッシュイン加工」等の販促を行い、夏物衣料のクリーニング需要喚起に注力いたしました。

これらの結果、7月までは、消費増税前の駆け込み需要の反動減の影響が見られたものの、8月以降は徐々に持ち直しの動きが見られ、9月後半における気温の低下が、夏物衣料の衣替え需要を後押ししたことも重なり、クリーニング事業の売上高は178億3千6百万円(前年同四半期比2.1%増)、セグメント利益(営業利益)は8億7千1百万円(前年同四半期比7.3%増)となりました。

<レンタル>

レンタル事業は、ホテル・レストラン等に向けたリネンサプライ部門と、コンビニエンスストアや外食産業、食品工場等に向けたユニフォームレンタル部門とに大別されます。

レンタル事業における第3四半期の売上は、リネンサプライ部門において、新規に開業した高級ホテルとの取引が順調に推移したことや、ユニフォームレンタル部門における、食品関連企業の衛生管理ニーズの高まりによる新規取引獲得等が寄与し、増収となりました。

一方で、リネンサプライ部門において新規受注に伴う初期投資の償却負担等が経費を押し上げたこと等から、レンタル事業の売上高は140億6千8百万円(前年同四半期比4.7%増)、セグメント利益(営業利益)は7億8百万円(前年同四半期比11.2%減)となりました。

<不動産>

不動産事業では、不動産の賃貸および管理・仲介を行っております。

売上高は5億5千1百万円(前年同四半期比2.9%減)、セグメント利益(営業利益)は2億4千3百万円(前年同四半期比5.8%減)となりました。

<その他>

その他事業においては、家庭用モップ・マット等を供給するケミサプライ部門が、同業他社との競争環境が厳しい中、得意先件数の増加により増収となったことに加え、連結子会社におけるクリーニング機械等の売上が増加したことから、その他事業の売上高は42億8千8百万円(前年同四半期比3.8%増)、セグメント利益(営業利益)は、2億1千万円(前年同四半期比61.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ24億円増加し、333億7千4百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加3億2千9百万円、たな卸資産の増加4億9千2百万円等により9億4千6百万円増加し、112億1千万円となりました。

固定資産は、建物及び構築物の増加11億2千8百万円等により14億5千4百万円増加し、221億6千3百万円となりました。

また、流動負債は、短期借入金の増加9億3千9百万円等により11億5千8百万円増加し、126億6千4百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の増加4億5千7百万円等により8億8千8百万円増加し、134億8千3百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加2億6千万円等により3億5千3百万円増加し、72億2千5百万円となりました。

自己資本比率は、前連結会計年度末の20.5%から20.1%へ減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、平成26年2月17日に発表いたしました平成26年12月期の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	933	1,262
受取手形及び売掛金	3,903	4,028
たな卸資産	4,622	5,114
繰延税金資産	231	271
その他	586	547
貸倒引当金	△12	△13
流動資産合計	10,264	11,210
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,442	19,533
減価償却累計額及び減損損失累計額	△13,238	△13,201
建物及び構築物(純額)	5,204	6,332
機械装置及び運搬具	7,738	7,761
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,874	△6,768
機械装置及び運搬具(純額)	864	992
土地	7,076	7,021
その他	3,862	4,124
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,275	△2,344
その他(純額)	1,586	1,780
有形固定資産合計	14,731	16,126
無形固定資産		
	295	323
投資その他の資産		
投資有価証券	2,688	2,719
差入保証金	1,797	1,757
繰延税金資産	1,194	1,217
その他	104	120
貸倒引当金	△103	△101
投資その他の資産合計	5,681	5,713
固定資産合計	20,709	22,163
資産合計	30,973	33,374

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,700	3,018
短期借入金	3,327	4,266
1年内返済予定の長期借入金	2,075	2,229
1年内償還予定の社債	60	40
未払法人税等	588	325
賞与引当金	195	436
その他の引当金	43	18
その他	2,516	2,330
流動負債合計	11,506	12,664
固定負債		
社債	100	150
長期借入金	6,417	6,875
退職給付引当金	2,937	2,960
役員退職慰労引当金	207	209
環境対策引当金	36	36
資産除去債務	215	232
その他	2,679	3,020
固定負債合計	12,594	13,483
負債合計	24,101	26,148
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,410	2,410
資本剰余金	1,496	1,496
利益剰余金	2,226	2,486
自己株式	△232	△234
株主資本合計	5,900	6,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	578	615
為替換算調整勘定	△119	△50
その他の包括利益累計額合計	458	564
少数株主持分	512	502
純資産合計	6,871	7,225
負債純資産合計	30,973	33,374

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	33,552	34,728
売上原価	28,653	29,773
売上総利益	4,898	4,955
販売費及び一般管理費	4,003	4,082
営業利益	895	872
営業外収益		
受取配当金	32	29
為替差益	138	15
受取補償金	50	54
持分法による投資利益	26	17
その他	119	147
営業外収益合計	366	264
営業外費用		
支払利息	182	185
シンジケートローン手数料	1	1
その他	34	14
営業外費用合計	217	201
経常利益	1,044	936
特別利益		
投資有価証券売却益	454	94
負ののれん発生益	-	15
特別利益合計	454	110
特別損失		
固定資産処分損	14	62
本社移転費用	-	26
特別損失合計	14	89
税金等調整前四半期純利益	1,484	957
法人税、住民税及び事業税	588	571
法人税等調整額	33	△87
法人税等合計	622	484
少数株主損益調整前四半期純利益	861	473
少数株主利益	43	18
四半期純利益	817	454

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	861	473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	218	35
為替換算調整勘定	59	58
持分法適用会社に対する持分相当額	46	13
その他の包括利益合計	324	107
四半期包括利益	1,186	580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,142	559
少数株主に係る四半期包括利益	44	20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	クリーニング (百万円)	レンタル (百万円)	不動産 (百万円)	計 (百万円)				
売上高	17,463	13,432	568	31,465	4,134	35,599	△2,046	33,552
セグメント利益	812	798	258	1,870	129	2,000	△1,104	895

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハウスクリーニングやモップ、マット等のレンタルを行うクリーンサービス事業や、洗濯機械販売、修理、各種洗濯資材・ユニフォームの製造、販売等を取扱う事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,104百万円には、セグメント間消去△20百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△1,084百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	クリーニング (百万円)	レンタル (百万円)	不動産 (百万円)	計 (百万円)				
売上高	17,836	14,068	551	32,456	4,288	36,745	△2,016	34,728
セグメント利益	871	708	243	1,824	210	2,034	△1,162	872

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハウスクリーニングやモップ、マット等のレンタルを行うクリーンサービス事業や、洗濯機械販売、修理、各種洗濯資材・ユニフォームの製造、販売等を取扱う事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,162百万円には、セグメント間消去△34百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△1,127百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。